

ふれあい情報

■発行 日本高齢・退職者団体連合（退職者連合）

■発行人 羽山 治美 ■編集人 林 道寛

■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL:03-5295-0507 FAX 03-5295-0541

e-mail taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2014年1月1日(水)

第149号

2014年 新春あいさつ



組織を拡大し、力を強くしよう！

日本高齢・退職者団体連合
会長 阿部保吉



会員とご家族の皆様 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。東日本大震災で被災された皆様には、過酷な日々の暮らしを憂い心からお見舞いを申し上げます。

政府の震災復興の遅れはもとより、福島原発事故の汚染水漏れさえも収束できずに新年を迎えました。私達は、大震災で平穏な暮らしを奪われた皆様が、住まいや雇用、医療と介護、子ども達が元気を取り戻す日まで支援してまいります。

昨年年末の臨時国会では、安倍政権が狙う集団的自衛権の行使と一体の特定秘密保護法案が上程されましたが、与党の強引な国会運営により問題点の解明がされず政治不信

が高まっています。防衛、外交等4分野を対象とするこの法律は、公務員のみならず民間の人にも処罰対象とされ、また「何が秘密なのかも秘密」と云われるように国民の知る権利を封ずる反国民的な法律と云わざるをえません。言論の自由を奪い弾圧した戦前・戦中の治安維持法の再来を許さないよう取り組む必要があります。

社会保障制度見直しの手順を定めた政府のプログラム法案は、年金はデフレ下のマクロ経済スライドの発動を許さず、また医療は差別的な後期高齢者医療制度の継続に反対します。更に150万人に及ぶ要支援者を介護保険から切り離す改革案にも反対し修正を求めます。政権交代で社会保障制度が大きく後退しつつありますが、こうした自公政権の暴走を阻止するため組織の拡大を図り、力量を高めるよう全力で取り組みます。



現退連携で働くことを軸とする安心社会構築を



日本労働組合総連合会 会長 古賀 伸明

2014年の年初にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災の発災から3年近くが経過しました。被災者の生活再建と被災地の復興・再生への道のりは、未だ遠いと認識せざるを得ません。連合は、被災地の復興・再生を全力で支え、震災を決して風化させないよう、被災地の地方連合会と連携した取り組みを継続します。

グローバル化、超少子高齢・人口減少社会など、労働運動を取り巻く環境も大きく変わりました。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、

1000万連合を目指した組織拡大や地域に根差した運動を、退職者連合との連携も深めながら展開するとともに、労働運動のウイングを広げ、生活者や働く者・消費者の視点から、共通の価値や目標を持った個人や諸団体とのアライアンスなど新たな運動にも取り組みます。

退職者連合の皆様には、連合運動への尚一層のご理解とご協力をお願いしますとともに、本年が良い年となりますことを御祈念申し上げます。

安倍政権と対峙し、国民の暮らしと未来を守る



民主党 代表 海江田 万里

日本高齢・退職者団体連合の皆様には、民主党を代表して謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素からの民主党に対するご支援ご協力に心から御礼申し上げます。

安倍政権は数の力を頼りに、国民の声を無視して公約違反の政策変更を進めています。持続可能な社会保障整備と充実、働く人の安心を置き去りにし、負担増とサービス切り下

げ、雇用の規制緩和が進んでいます。民主党は、生活者・納税者・消費者・働く者の立場にたち、安倍政権と対峙し、国民の暮らしと未来を守ります。

新たな年の始まりにあたり、みなさまの益々のご健勝ご多幸を祈念いたしますとともに、改革創生の歩み続ける民主党に一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平和憲法守るたたかいに全力を尽くす

社会民主党 党首 吉田 忠智

あけましておめでとうございます。

「働くひと」の権利を空洞化する労働法制の規制緩和に反対します。まず何よりも賃上げを実現し、そして「働くひと」が希望をもて、生活再建ができる雇用を確立しよう！

安倍政権は日本版NSC設置法をかわきりに、特定秘密保護法、防衛大綱の見直し、そして国家安全保障基本法で「戦争のできる国」に

しようとしています。特に、特定秘密保護法は国民の活動を萎縮させ、民主主義を破壊して戦争への道に導く悪法です。特定秘密保護法に断固反対し、「集団的自衛権の行使」を許さず、平和憲法を守るたたかいに全力を尽くす決意です。

ともに頑張りましょう！

連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会めざす

労働者福祉中央協議会 会長 古賀 伸明



新年あけましておめでとうございます。

退職者連合に結集する皆さまにおかれましては、日頃から中央労福協へのご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は2012国際協同組合年に引き続き、労働組合と協同事業との連携強化、共助を必要とする人たちの共助の仕組みへの参加の具体化に取り組んできました。本2014年に中央労福協は結成65周年を迎え、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざす中央労福協「2020年ビジョン」の取り組み

の折り返し点に立ちます。本年も退職者連合の皆様とともに諸課題に取り組み、さらに一步踏み出し、労働者福祉のウィングの拡大をめざす共助拡大運動に取り組んでまいります。労働運動が自らつくり育ててきた労働者自主福祉運動の推進に向けて一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

この1年が皆様にとってよりよい年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



退職者のお役に立てる「生活応援バンク」に

(社) 全国労働金庫協会 理事長 石橋 嘉人

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は労働金庫に対しまして、ひとかたならぬご高配をたまわりましたことに御礼申しあげます。

労働金庫は誕生から60余年を経過しておりますが、現在の労働金庫の年代別ご利用状況は、普通預金の契約者数・口座残高ともに60歳以上の方々に最もご利用いただいております。まさに退職者のみなさまには労働金庫の誕生から今日まで労金運動

の中心となつていただいております。

労働金庫は、全国47都道府県にあるネットワークを活用し、身近で「安心」「安全」「健全」な「生活応援バンク」として、今後とも退職者のみなさまのお役に立てるよう努めてまいります。

退職者連合のますますのご発展と労働金庫への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

一を止める。

全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長 中世古 廣司



あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで清々しい初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新たな年を迎え、私たち全労済は、現行中期経営政策(2009~2013年度)の「仕上げ」と次期中期経営政策(2014~2017年度)の「仕込み」を同時に実践するとともに、誕生から30周年を迎えた『こくみん共済』のさらなる進化をめざす、極めて重要な一年となることを再認識して取り組みの強化を図る所存です。

さて、古くから“一年の計は元旦にあり”と語り継がれてきました。また、正月の「正」という字を分解すれば、「一(いち)を止(とど)める」となるとも言われて

います。「一を止める」とは、「原点」「基本」「初心」を「一」として、「原点・基本・初心に徹することこそが大切であり、それは正しいことにもつながるのだ」という教えです。

取り巻く環境が厳しく難しいときこそ、私たちは、私たちの原点ともいふべき『みんなであすけあい、豊かで安心できる社会づくり』という理念に立ち返らなければなりません。節目の年の始めに計を立てるにあたり、「一を止める」ことを肝に銘じたいと思います。

結びに、みなさまのますますのご健勝・ご多幸と、さらなるご発展を祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。

本年も どうぞよろしくお願ひします。



2014年新春

退職者連合 役職員一同



役職	名前	所属	役職	名前	所属
会長	阿部 保吉	林退会	幹事	丸山 清	電機連合OB会
副会長	福田 利久	自治退	幹事	太田 敏夫	農水退
副会長	川島 靖	郵政退協	幹事	井田 隆重	私鉄高退協
副会長	臼井百合子	全国退女教	幹事	平田 英男	全たばこ退職者の会
副会長	和田 正	UA センセニア友の会	幹事	園田 順子	全たばこ退職者の会
事務局長	羽山 治美	NTT労組退職者の会	幹事	芦沢 春樹	全水退
事務局次長	菅井 義夫	UA センセニア友の会	幹事	大山 勝也	JAM シニアクラブ
事務局次長	林 道寛	連合本部	幹事	青木 研一	PUC 退職者の会
幹事	川端 邦彦	自治退	幹事	吉田 鈴江	PUC 退職者の会
幹事	野田那智子	自治退	幹事	柴田 哲夫	N退協
幹事	岩河 吉美	NTT労組退職者の会	幹事	片倉 利夫	全印刷局退職者の会
幹事	五十嵐 久	郵政退協	幹事	小栗 啓豊	基幹労連退職者の会
幹事	高橋フミ子	郵政退協	幹事	唐澤 脩	全造船機械高退協
幹事	竹田 邦明	日退教	幹事	矢ヶ部正弘	セラミックス連合OB会
幹事	寺井 律子	日退教	幹事	北岡 孝義	総評OB会
幹事	鈴木 好代	鉄道退職者の会	幹事	宮崎 安基	東京高退連
幹事	小野美代子	全国退女教	幹事	池田 捷治	神奈川シニア連合
幹事	鈴木 民男	日産・エルダークラブ	会計監査	竹島 幸紀	全たばこ退職者の会
幹事	石川 昇	林退会	会計監査	西村 勲	N退協
幹事	熊崎 清子	UA センセニア友の会	顧問	眞柄 栄吉	元会長
幹事	古谷 徳重	都市交退協	顧問	須藤 義美	元事務局長
幹事	大熊 勝明	JR 総連 OB 連絡会	事務局	高柳 京子	退職者連合
幹事	佐藤 光雄	JR 連合退			

日本語は、文字にすれば違
いがはつきりするが、聞いた
だけでは全く異なる意味に
なる言葉が多い。▼ある人が
レストランで注文したステ
ーキが冷たかったので、ボー
イを呼んで「これ冷たい」と
言ったら、分かりましたと料
理を下げて、間もなく発砲ス
チールの容器に料理を「詰め
て」お待たせしましたと持つ
てきたとのこと。▼近頃、総
会あいさつで、退職者にとつ
て大切なキーワードを二つ、
それは「教養」と「教育」で
す。▼教養とは「今日用」が
ある。教育とは「今日行く」
とところがあると読替える。▼
仕事から解放されて、家に引
きこもってばかりいると、肉
体的にも精神的にもおかし
くなる。▼「今日用」と「今
日行く」に留意してがんばら
うと結んでいる。(羽山)

